

CONTENTS

- 戦後60年企画 「沖縄写真館」…………… 2  
1970年代その① 復帰前の激動と混乱
- 県政フラッシュ…………… 4
- 特集1 …………… 6  
語り継ごう 疎開体験と平和への思い
- 特集2 …………… 8  
あなたの職場に子育て支援のための行動計画はありますか？
- 特集3 …………… 10  
心の健康を見つめてみよう
- ハイサイうみとも 海のともだち …… 12  
「オビシヨウジウオ」
- うちな〜かこぶ …………… 14  
うちな一茶屋ぶくぶく 店長 横江柳子さん
- 県のうごき …………… 16  
離島フェア2005 さあでかけよう！沖縄の島々へ
- 情報ひろば …………… 18  
おしらせ
- お届けします！わたしたち …… 20  
■那覇市 「第13回なは青年祭」  
■竹富町 「郷愁漂う歌声に酔う・第15回ダンス大会」
- 石獅子見聞録 …………… 21  
東風平町・富盛

●表紙写真  
沖縄の海と島と空の「やすらぎ」をテーマにした写真を紹介します。  
11月号表紙写真【小浜島】  
カメラマン：北島清隆 <http://k-kitajima.net>

■ 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について ■

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の行政についての情報や、県内各地域の情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。  
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

沖縄県広報協会(県広報課内)TEL:098-866-2020



米軍基地で大量の毒ガスが貯蔵 1970年5月23日

県民総決起大会で毒ガスの即時撤去を要求する住民  
(琉球政府関係写真資料 036170)



毒ガス移送の間、避難生活を送る住民 1971年8月

具志川市(現在のうるま市)川崎小学校に避難した住民  
(琉球政府関係写真資料 039178)



国場川汚染で大量の魚が死ぬ 1970年11月19日

何十万匹といわれる数のティラピアが浮いて悪臭を放ち、工場排水や家庭用排水などによる汚染が表面化しました。  
(琉球政府関係写真資料 037148)



米軍基地に貯蔵された毒ガスの移送 1971年7月19日

知花弾薬庫の所在する地域から島外へ毒ガスを移送する作業は延べ60日近く続き、沿道の住民は避難生活を強いられました。  
(琉球政府関係写真資料 038805)

一九六九年十一月の佐藤・ニクソン共同声明で一九七二年の沖縄返還が宣言されたのを受け、翌七〇年には日米琉各政府の代表が参加する復帰準備委員会が発足、沖縄復帰対策要綱が日本政府で閣議決定されました。沖縄側では復帰対策県民会議を設置して、復帰準備を進めました。一九七〇年代の沖縄は、近づく日本復帰の前に大きな変化に見舞われました。一九七〇年十一月十五日には戦後初の国政参加選挙が実施され、七人の沖縄選出議員が日本の国会に議席を得ることになりました。しかし、一方で、米軍基地に致死性の高い毒ガスが貯蔵されていることが一九六九年七月に明らかになっており、毒ガス撤去までの二年二月、その撤去を求める住民運動が島ぐるみで展開されました。毒ガスは一九七一年一月と七月から九月の二回にわたって移送され、その間、

移送ルート周辺の住民は避難生活を余儀なくされました。一九七一年に入ると返還協定に反対するゼネスト(ゼネラルストライキ)が実施されましたが、同年十一月十七日には衆議院沖縄返還協定特別委員会において返還協定が採決されました。復帰を目前に沖縄人基地労働者の大量解雇が相次ぐ中、河川汚染などの公害問題が表面化、また、一九七二年にアメリカが打ち出したドル防衛策がドル・ショックと呼ばれて物価高騰などの経済不安をかきたてるなど、世替わりを前にした沖縄の社会は激動と混乱のさなかにありました。



基地労働者の解雇が相次ぐ 1971年2月

全軍労3,000名解雇撤回要求48時間ストライキ。施政権の返還にあわせて基地の経費節減や合理化を行う米軍に、抗議の声が高まりました。(琉球政府関係写真資料 037748)

このコーナーの写真の使用・転載などにつきましては沖縄県公文書館 ☎098-888-3875 までお問い合わせください。

一九七〇年代その① 復帰前の激動と混乱  
沖縄写真館

第二次世界大戦の終了から六十年の今年、本誌では戦後から一九七二年五月十五日の沖縄の日本復帰までの様子を写真を中心に紹介します。沖縄県公文書館の協力の下、戦後の沖縄を明るく、たくましく生き抜いた人々の様子を年代順に紹介します。